



編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話 532111 (代表) 内線40

春を告げる彼岸

小
児
を
見
守
る
地
蔵
菩
薩



彼岸だんごを供えてお地藏様に見入る——川倉賽の河原地蔵尊堂にて

暑さ寒さも彼岸まで、
彼岸の入りにもなると春のきざし
しが日一日、いや刻一刻と目に見
えるようだ。

春分・秋分の日を中日とし、その
前後七日間が彼岸と言われる。
約四、五〇〇体のお地藏様が安置さ
れている川倉賽の河原は、十八日
の彼岸の入りからおだんごや衣類
を供える熱心な参拝者で春を告げ
る。

母胎を痛めた小児が三途の川原
で石塔を造ろうとすると、どこか
らともなく鬼がやって来て崩し去
る。これを地藏菩薩が救うという。
旧暦六月二十三、二十四日の例
大祭とは違いひっそりと物静かだ。

この行事が終ると農作業もにわ
かに活気立ち津軽にも遅い春がや
ってきたことを体で感じる。
春暖の草と土のにおい、ゆらゆ
らと立ち昇るかげろう。
これからが一年のはじまりか…。

ホームヘルパー

在宅福祉の 第一線で働く

寝たきり老人にとって欠かすことのできない家庭奉仕員（ホームヘルパー）、独居老人の増加と介護者の高齢化と相まって今家庭奉仕員の役割が重要視されて来ました。

金木町には、老人家庭奉仕員と身体障害者家庭奉仕員がそれぞれ昭和四十六年度、昭和五十年から奉仕員派遣事業として始められ現在五人のヘルパーが四十人の独居老人を受け持ち、

週二回を目途に身の回りの世話や話し相手などの仕事に従事しています。

一言に身の回りの世話と言ってもその内容は多種多様な仕事として割り切れない面もあります。

食事の仕度や洗濯はもちろん買い物、薪割り、雪片付け、煙突の清掃まであります。寝たきり老人にとってはこの上もない勤労奉仕で「お年寄りが訪問を待つてくれているし私たちに期待していることが一番の励みです。」とは金木担当の田中みよさん。信頼してくれているし訪問を喜んでもらえらる。嘉瀬担当の小山内ミ



月一回のヘルパーによる入浴

①おむね六十五歳以上の老人がいる世帯で、寝たきり老人等を抱え、その家族が介護を十分に行えない状況にあるとき

②日常生活にいろいろな不便を生じている老人がいます。高齡化社会が進む中で年金をはじめ色々な対策が改正され、人口の高齡化は現実にはひしひしと伝って来ている今日、私の家庭に限ってヘルパーのお世話になることはないと切り切れるでしょうか。

意志の疎通が最も大事

新議長に 沢田 茂氏



つたところ、新議長に沢田茂氏（写真）が選任されました。

さる二月二十八日開かれた臨時町議会で野宮雄造議長が病氣療養を理由に辞意を表明したため、其田豊一副議長のもとで欠員による議長選挙を行った。大正十五年九月三十日生まれ五十九歳。土地家屋調査士。

キさん。ホームヘルパーの方にとつての仕事が、寝たきりなどのお年寄りにしてみれば手足に変わる体の一部となつています。

一人暮らし老人の世帯。ホームヘルパーの派遣はこのいずれかに該当する世帯が対象となります。

新国民年金の 新制度

今年四月一日から国民年金法が一部改正されますが、これは高齡化社会へと進んでいる現在、若い世代の月給よりも年金が高くなる（保険料の高額化を防ぐ）、また老後の唯一の収入である年金を将来にわたって安心して頼れる制度への基盤づくりをすることにあります。

尚、今回の改正法は大正十五年四月二日以後に生まれた人を対象とし、大正十五年四月一日以前に生まれた人、又は現在年金をもらっている人はいままでどおりです。

〈老齡基礎年金〉

年金保険料を納めた人が、六十歳以上になった場合に支払われる年金は、老齡基礎年金と名まえが変わります。

年金額は昭和三十六年四月から六十歳まですべて納めていれば六十二万二千八百円です（毎年スライドします）。未納や免除期間があると、その不足する期間に応じて減額されます。

年金をもらうことができる年齢は六十五歳ですが、六十歳から繰上げてもらうこともできます。

護には、その人の気持ちをも理解するまで苦勞も多く時間がかかります。金木担当

の竹内恭子さん。重度身障者を対象とした月一回の入浴は少なうてかわいそう



毎週土曜日打合せ会が行われる

連けいプレーがなす仕事

○月△日重度身障者の入浴。民生課職員が移動入浴車を運転し訪問先へ直行する。保健婦が血圧測定など健康状況を診断に直行。福祉浴槽を運搬し、給排水の準備をする。浴槽内が適温となったところでヘルパーが体を洗う。一回の入浴で職員二名保健婦一名ヘルパー二名の合わせて五名が携わることになります。しかも他の職種を持つ人が同じ日同じ時間に集中しなければ

保健婦などの他職種との連携が密接なかかわりを持っています。

ばなりません。こうした連携があつてお世話になる方の家族に代わることになり

ホームヘルパーは公的援助者であつて家族にとつて代わることはできません。しかし、家族の方だけでは支えきれないところを援助することができます。核家族化が進み家庭基盤が希薄化することで在宅福祉は重大な極面を迎えようとしています。

三月五日(水)、今朝は実に爽やかに晴れあがり気持ちがいい。三月に入りめつきり春暖になったことを肌

りに来町することが内定したことで地元後援会鳴海、吉崎世話役人及び町商工会

に感じる。そういう日は地中の虫も動き出すといわれる啓蟄の日にあたる。午前八時三十分自宅を出る。今朝は、嘉瀬知人宅に不幸があつたためお悔みを申し述べて、嘉瀬経由で役場へ登庁。午前九時地元出身歌手、吉幾三氏、桜まつ

文書決裁、病院議会日程の打合せ、新年度財政逼迫の折り町繰出金の窮状等を説明。午前十時町議会土木常任委員会、委員会付託陳情二件の件、今冬の除排雪並びに事業繰延への件、新年度土木関係予算説明には助役と建設課長共ども出席。お昼の休みを挟んで、午後一時町議会農林商工常任委員協議会へ、新年度の農林及び商工視光予算説明は助役並びに担当課長と出席、委員会からは厳しい要望、意見続出するなり。午後四時過ぎ吉幾三事務所プロデューサーと電話で打合せ、本人は地元金木町のため一杯頑張ることを話しているとのこと。午後四時三十分退庁。



に聞く。午前九時五十分

役と建設課長共ども出席。

この場合、六十五歳前に障害者になった場合、障害基礎年金はもらえなくなります。

《障害基礎年金》

いままでも、国民年金をかけている間の障害には障害年金、二十歳前の障害には障害福祉年金をそれぞれ支給していましたが、新法ではどちらも障害基礎年金と名まえが変わります。

これには新しく、十八歳未満の子がある場合の加算額が付きます。

※子の加算額

- 一人目・二人目 一人につき
- 一八六、八〇〇円
- 三人目以後 一人につき
- 六二、三〇〇円



《遺族基礎年金》

いままでも、一家の中心となつて働く夫が死亡した場合に、その妻と子の生活の安定を図るため、妻に対して支給されていた母子年金や、両親が死亡した場合に、残された十八才未満の子に支給されていた遺児年金は、遺族基礎年金と名まえが変わります。

この場合、母子年金では死亡した夫に関係なく妻が国民年金に加入していることが必要でした。これに対し、新しい遺族基礎年金では、夫が国民年金に加入していることが必要となります。

《寡婦年金》

これまでと同様に、老齢年金の受給資格期間を満たした夫が年金を受けずに死亡した場合、妻が六十歳から六十五歳になるまで夫にかわつてもらえます。

年金額は、これまで夫が受けるはずの年金の

気でした

出稼者を激励訪問



金木町出身者20人が働く
愛知県 岡戸組会議室にて

当町の出稼者を激励訪問する昭和六十年出稼農業者事業所訪問がさる二月二十一日から二十五日までの日程で行われ、古川町長らがふるさと情報を伝え出稼者を激励しました。

今年訪問した事業所は、二十名の当町出身者が働く愛知県阿久比町の岡戸組や神奈川県、埼玉県などに及ぶ四つの建設会社で、五十一名の方と面談しました。

出稼訪問は、昭和四十五



神奈川県 譲原建設にて

年から続けられ今年で十七回目を数え、古川町長や山中農業委員会会長ら五人の訪問団は、積雪量や除排雪作業の進展、異常に多い火災発生など町の近況を伝えましたが、就労者からは、農業者年金を含む年金制度の改正や雇用保険制度など身近にせまる質問も多く古川町長らが一一つ応待し、喜ばれていました。

また、東京都内では、効率よく面談するため、都内で働く人を一カ所に集めて激励しましたが、どの訪問先でも直接聞くふるさと情報は好評で、「春はもうすぐ、あと一頑張りだ。」と帰省を楽しみにし、皆んな元気で町長らを安心させました。

出稼ぎ者の多くは、失業認定期間（六カ月）もあつて三月下旬〜四月中旬の帰省が多く、帰省とともに農

二分の一でしたが、改正後は四分の三になります。

《死亡一時金》

保険料を三年以上納めた人が、老齢・障害・遺族基礎年金のいずれも受けないまま死亡した場合に支給されます。

また、額は次のように引き上げられます。

納めた期間	現在	改正後
3年以上	二二、〇〇〇円	一〇〇、〇〇〇円
20年未満	二八、〇〇〇円	
25年以上	三六、〇〇〇円	一二六、五〇〇円
30年未満	四四、〇〇〇円	
35年以上	五二、〇〇〇円	一六〇、〇〇〇円
40年未満	五二、〇〇〇円	
35年以上	二〇〇、〇〇〇円	二〇〇、〇〇〇円

尚、保険料を納めた期間が三年未満の人には、町から弔慰金がです。

《付加保険料》

これまでは、高い保険料（月額四百円の加算額）を納めて、高い年金をもらいたいという人は、希望があれば誰でも納めることができました。

改正後は、農業、自営業者等だけに限られます。したがって、これまで任意加入してきたサラリーマンの奥さんなどは、納めることができなくなりました。

《支払期月》

今回の改正により、老齢・障害・遺族・通算老齢年金の支払期月はすべて、2月・5月・8月・11月となります。

《六十歳以上六十五歳未満の任意加入》

農業、自営業者等で、あとわずかの期間があれば資格期間を満たすような人や、保険料未納期間があつて年金額が低い人は、六十五歳に達するまで、任意加入が認められます。

みんな元 古川町長らが



愛知県 山下建設にて

作業が待ち受けていますがやはり家族のもとの仕事は張り合いが違います。町内の冬期出稼者は、関東地方を中心として約千百人となっており、夫婦で就労す

る方も多く、留守を守るのも当然高齢者。小学生や中学生の持つ家庭ではふるさとニュースが最も貴重とされています。訪問した事業所は次のとおりです。(内は就労者数)▽愛知県▽岡戸組(20) 山下建設(16)▽神奈川県▽讀原建設(4)▽埼玉県▽中野組(6)▽東京都内(5)

やくばのじゅんと

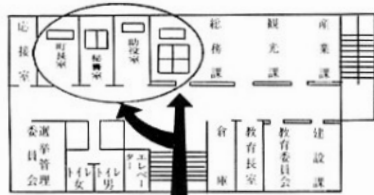
企画室

行政の連絡調整地点
やくばのしごとが最終回は本紙の編集や各種統計などを担当している企画室を紹介いたします。

企画室は企画係、統計係、広報係に大別され、町長の秘書に関することを含め職員七名(うち運転手一名)が配置されています。町づくりの計画書作成や町長からの特命に係る事務をはじめ、昨年来進められている第二次金木町総合計画を策定している企画係。国勢調査、農林業センサスなど四十五種類に及ぶ各種統

計調査を所轄し、色々な用途に使用される資料として整理する統計係、金木だよりの編集とお知らせ版の編集発行、無線放送さらに広報活動を一体化した広報係が、企画立案の担当課として設置されています。

もともと企画室は、庁内の小部屋に配置された「室」となっていました。その名残りは今でも企画課ではなく企画室として町条例に残り、新しい事業を進める連絡調整地点がこの企画室となっています。



庁舎2階 企画室

管理職のプロフィール
企画室長 山田 篤之(49)

また、町長室と助役室に隣接する秘書室もこの企画室で所掌し、町長の日程や助役、収入役のスケジュールをバランス良く調整しています。

昭和12年2月15日生まれ 温厚誠実で責任感は一入倍。カラオケ大好き? 私の一言……

各自自治体の人口減少が進むなか、本町も例外でなく、六十年国調人口は一三、七三〇九人も減少しています。核家族化の進展と若者の流出等が要因と考えられ、いかに地域振興で活性化を図るかが大きな課題となっています。町行財政も大変な時期にさしかかっています。行革と創意工夫をスロガンに「明るい町づくり」に全職員一丸となって取組まなければと思っています。

主な改正点は以上ですが、わからない点がありましたら、役場国民年金担当窓口へお尋ねください。



無理のない負担のために



第3号被保険者の届出のお願い

夫が厚生年金(船員)保険や各種共済組合の加入者でその夫から扶養されている二十歳以上六十歳未満の方は、「第3号被保険者」といい、今回届出をする国民年金保険料は納める必要がありません。このような方は大切な届出ですので、期限内に必ず届出して下さい。

届出のしかた

- ①現在国民年金に加入されている方は、三月三十一日までに届出
- ②前に国民年金に加入されていたが現在休んでいる方は四月一日以降届出
- ③今まで国民年金に加入されたことのない方は四月一日以降届出

※なお、夫の勤務先が届書のとりまとめと提出の代行を行っている場合には夫の勤務先に提出して下さい。

また、四月一日以降に夫が厚生年金(船員)保険や各種共済組合に加入したり、退職した場合にはそのつど国民年金係まで届出しなければなりません。

昭和60年度 町褒賞

自治功労者など二十三人に贈られる

政治、経済、文化、社会
その他町政振興に寄与し、
広く町民の模範となる個人
または団体に贈られる昭和
六十年年度町褒賞授与式が、
さる三月三日、役場会議室
で行われました。

町褒賞は金木町褒賞規則
に基づき、自治功労褒賞、特
別功労褒賞、善行褒賞に分
けられ褒賞審議会に図られ
昭和四十年年度から実施して

いるものです。

式は、古川町長が「褒賞
を契機にこれからも後世の
指導と町発展にご尽力くだ
さい。」と式辞を述べ、竹内
総務企画常任委員長から今
年度教育研究に功績のあつ
た土岐武治さん（京都府在
住）らの選考経過報告がな
され、古川町長から二十三
人の功労者一人一人に褒賞
状と記念品が手渡されまし

喜良市北本町

太田ひとみさん

19歳 O型 魚座



フレッシュ・ギャル

高校生活の抜け切らない
ままに就職先の研修を二十
日間。町内の金融機関に勤
めています。

この十四日が誕生日で二
十歳まであと一年、待ち遠
しいやら残念やら複雑な心
境です。社会人一年生もど

うにか進級できそうです。
でも初心を忘れないでこ
れからも仕事に励みたいと
思います。

趣味は推理小説やSF小
説が主な読書と映画鑑賞で
す。最近見た「タンポポ」
の映画は職場での緊張感を
忘れさせ久しぶりに笑っ
ちやつた。そう快です。

自分では明るく振る舞っ
ているつもりなんだけど、
暗いかなあ……。

理想の人は温厚誠実で自
分の考えをしっかりと持つて
いる人がいいです。

た。

このあと、受賞者を代表
して、職業訓練指導員とし
て永年功労のあつた長尾甚
五郎さんが「受賞を励みに
これからも一層町のために
尽くします。」と謝辞を述べ
受賞の喜びをかみしめてい
ました。

五郎（職業訓練指導員）岡
田正七（農業の振興）毛内
（同）以上。
英文（交通安全）葛西文昭

- 受賞者は次のとおりです。
- ◎自治功労褒賞 木村博（町職員二十年以上）黒滝京子（同）白川和子（同）木村フミ（金木病院職員二十年以上）秋谷キエ（農協職員二十年以上）齊藤幸雄（同）小野元靖（行政協力委員十五年以上）北沢清一（同）
- ◎特別功労褒賞 土岐武治（教育研究）今トシ（子供会の育成）金本正三（体育振興）金本正土（同）長尾甚

金木町消防団に

日頃の消防団活動が認められ、さる三月五日、金木町消防団（白川竹治

竿頭綬

団長 団員二四三人）に消防団長官から竿頭綬が授与されました。

竿頭綬は、団に贈られる最高の榮譽である表彰旗に次ぐもので三十数年に一回の名譽あるものです。



昭和六十年年度

消防団

我が家の味

かつちやの腕自慢交換会

生活の中で工夫を凝らしたかつちやの技術を交換、交流し地域づくりに役立てよう。と、金木地区農業改良普及所管内十一の生活改善グループを一堂に会して、二月二十一日、「第二回かつちやの腕自慢、味自慢交換会」が町商工会館で開かれました。

この催しは、金木・中里・市浦・小泊の二町二村に及ぶ金木地区生活改善グループ連絡協議会（伏見ハルエ会長）会員一五〇人）が主催したもので、会員が日頃自慢するおふくろの味やリフトームなど生活工夫品に作り方や加工上の注意を書いた符せんを付けて持ち寄り約二〇〇展が集まりました。会場の町商工会館は、野菜やお菓子の即売コーナーもあってか朝から大入り満員で、入れ代わり立ちかわり訪れるかつちやたちは、特産物を生かした漬物やサラダ、お弁当の作り方などをメモする姿でこった返



大入り満員で賑うかつちやの味自慢大会

また、川倉地区生改グループによる「うんべいの作り方」の実演コーナーも設けられ、実際に赤や緑のうんべい菓子を作り入館者に振る舞っていました。この生活改善グループでは、「五十万円自給運動」を減しています。実践しており、野菜や鶏卵を自給し、毎日の食費を軽減しています。



栄光を讃えて

昭和60年度 金木町スポーツ賞



二月二十八日、役場会議室で昭和六十年年度町スポーツ賞の授与式が行われ、今年活躍した選手、団体に伊藤藤彦教育委員長から賞状と記念のメダルが贈られました。

- ▽個人
 白川巧（木高3年・相撲） 中3年・同
 秋谷友行（金高3年・陸上）
 小野文義（同・ウェイトリフティング） 其田克仁（同・和60年度青森県中学スキー） 斉藤真樹（金中3年・大会団体優勝）
- ▽団体
 金木南中学校スキー部（昭和60年度青森県中学スキー大会団体優勝）

あなたの善意

ありがとうございました。

町立中央老人福祉センターの脱衣場に、山道町の木村製材所さんが掛時計二個を寄贈してくれました。

小児科外来から

一、子供は、よく突発的に熱を出しますが、ただ病院へと急がず、まず冷やすことが大切です。(頭・わきの下・股間など)
 ※座薬を常備し、様子を見てから翌日病院へ
 二、よその人とうつると思われる病気の人は、早目に申し出て下さい。
 ※はしか・水ぼうそう・おたふくかぜ・しょうこう熱など

金木病院カルテ ⑥

「今、流行している怖い病気」

小児科 小野寺 典 夫

その1、はしか

昨年10月頃、7才の男児が4日前からの高熱、全身の発疹、咳と食欲不振を訴えて当科受診。「まさか、はしかでは」という不吉な予感が的中し、その子が今流行の第一例目となったわけですが、3月になってからも流行がおさまる気配はありません。昔から「はしかは子供の命定め」と言われたほどで肺炎、中耳炎、脳炎、脱水症など多くの合併症を

ひきおこし、実際に、数年前の八戸地方での流行時には約八人の子供が命を失っています。当地方では昔から、はしかの子供は暗い部屋にふとんをたくさんかぶせて絶対冷やさぬ様に寝せておくという習慣がある様ですが、これはまちがいです。高熱がある時には熱さ

ましの薬を与えたり、合併症を防ぐ様な薬をのませたり、脱水のある様な時には水分を多く与えたり、ひどい時には点滴注射をしたり

その2、川崎病

現在、青森市周辺で流行

しなければいけません。金木病院小児科では、はしか専用の診察室を設けて、はしか対策を行っています。早目に病院に連れてきてください。
 また一才半以上の子供及び大人でも、まだはしかにかかっていない人は、積極的に予防接種を受けましょう。
 当病院でもワクチンを準備しています。
 子供の病気は、かぜが最も多いのですが、それにまじって、このような恐ろしい病気が流行しています。注意しましょう。

していますが、高熱、発疹目の充血、唇の発赤などを主症状とする原因不明の病気です。心臓の合併症により突然死することのある怖い病気ですので、「かぜかな？」と思っても、一応小児科医の診察を受けた方が良いでしょう。

伝言板

建物一般競争入札

- 入札日時 4月7日(月) 午前9時
 - 入札場所 役場3階会議室
 - 売却物件 金木中学校体育館656.12㎡
体育館渡廊下 56.27㎡
 - 入札参加資格 金木町に住所を有する者
 - 現地説明 4月3日(木)午前9時
役場3階会議室
- くわしくは役場教育委員会事務局へ
TEL 53-2111 内線48

戸籍の窓

二月届出



おめでとー

白川 裕晃(勝成) 金木
 今 保博(保雅) 喜良市
 鎌田 千秋(千代梅) 嘉瀬
 白川 優貴(二行) 金木
 中西 貴洋(正樹) 金木
 中谷 透(弘道) 嘉瀬
 津島 孝佳(勇人) 金木
 津島絵里佳(政之) 金木

はじめまして

裕晃 ちゃん
 1月21日生まれ
 体重 3,030グラム
 沢部 白川勝成さんの
 長男



おくやみ

(松田 耕司(治悦) 中里町
 田中 英子(光雄) 金木
 (黒滝 茂(登) 金木
 楠崎 厚子(利道) 青森市
 (澤田 輝夫(清則) 中里町
 津島榮美子(久一) 金木

おしあわせに

神 ステ(87) 喜良市
 山中 リセ(85) 嘉瀬
 相馬 京子(64) 川倉
 棟方 ヤエ(80) 嘉瀬
 今 健三(61) 喜良市
 竹内 ソワ(81) 金木
 古川千代太郎(69) 喜良市
 白川 郊之助(82) 川倉
 工藤 リン(76) 藤枝
 津島 朝五郎(81) 金木
 田中 タカ(83) 川倉
 小林 岩太郎(48) 金木

人口と世帯	2月28日現在		前年同月比
	男	6,813人	
女	7,343人	-86	
計	14,156人	-163	
世帯数	3,899世帯	-1	